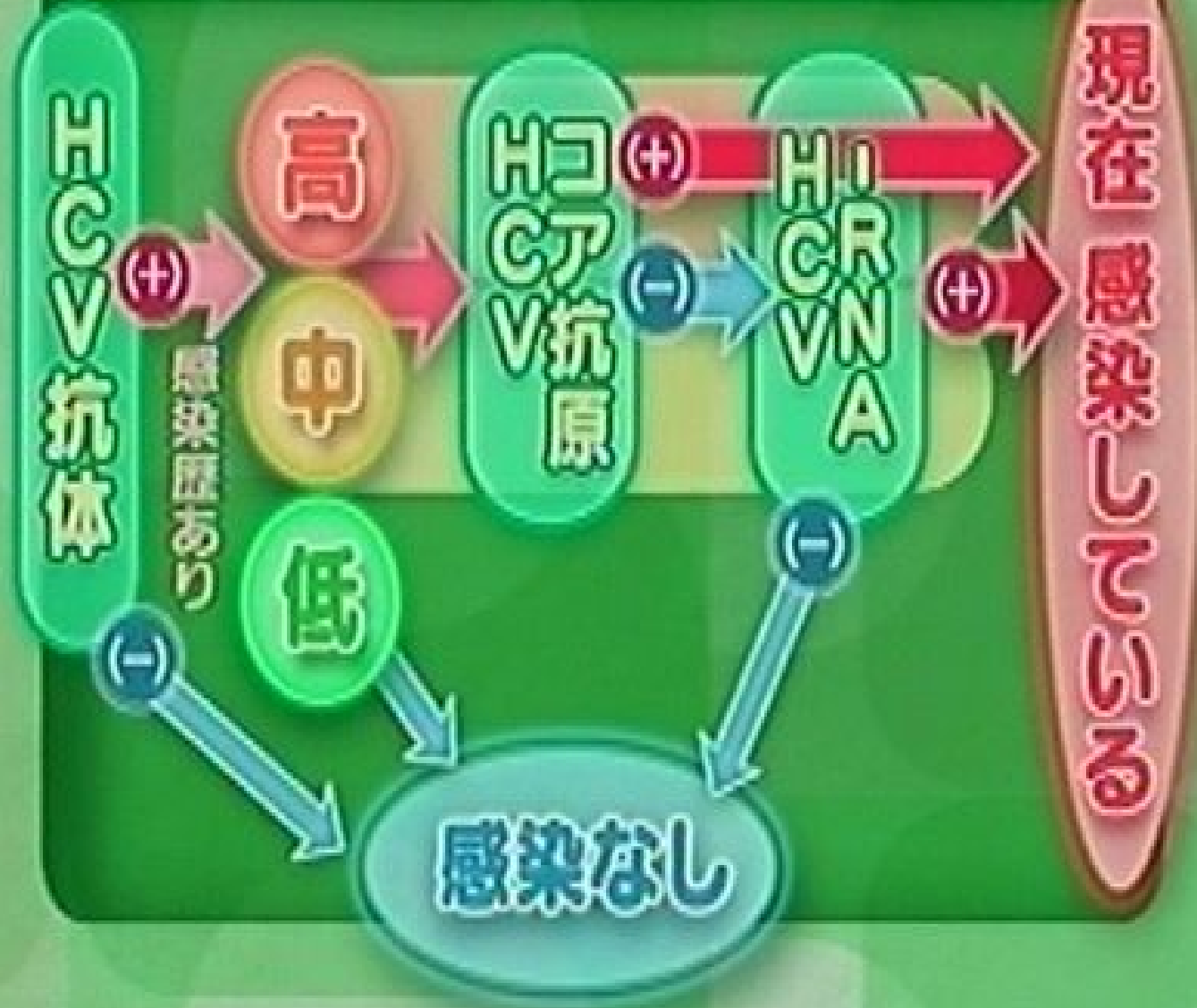
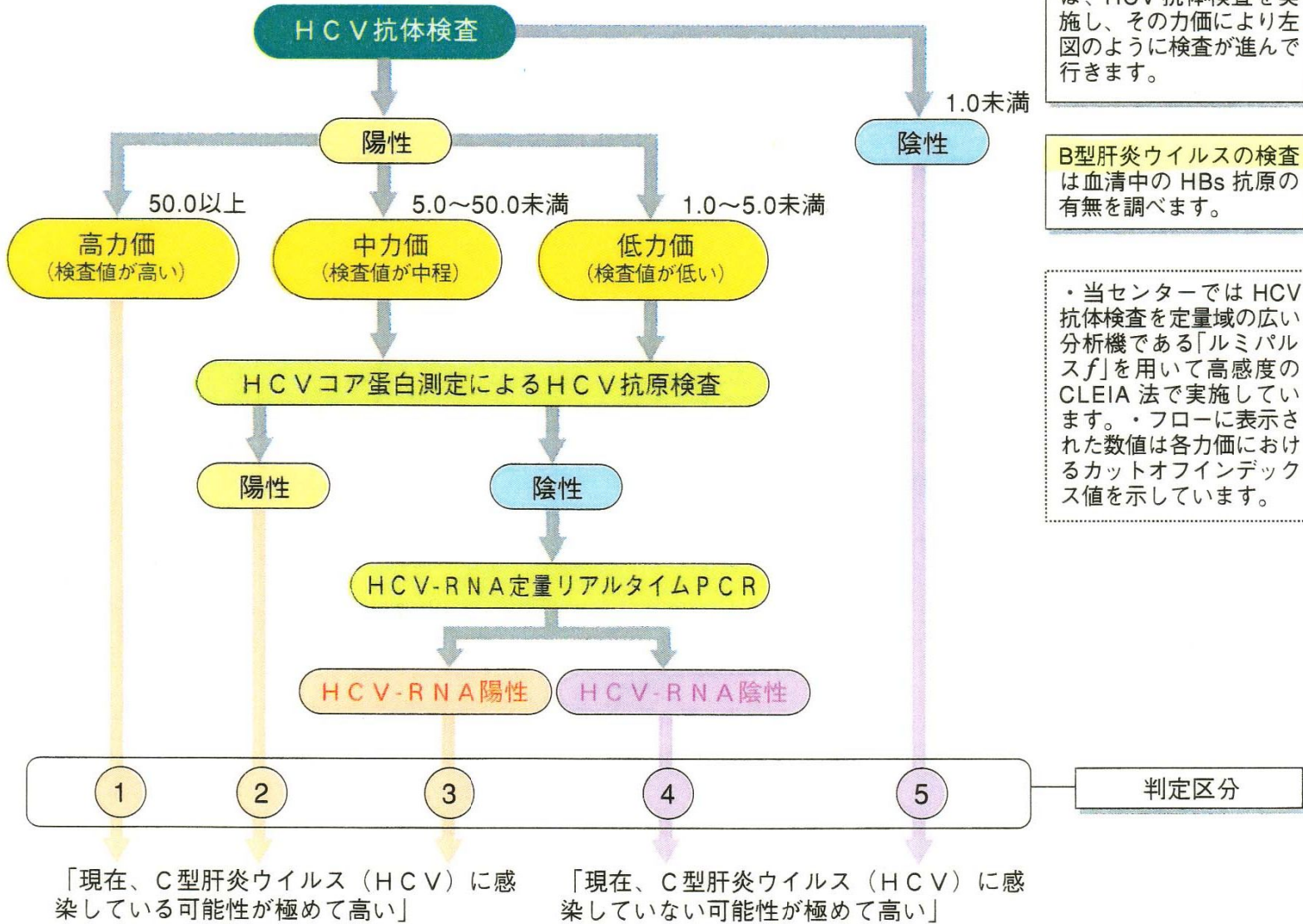


C型肝炎ウイルス感染を発見する血液検査

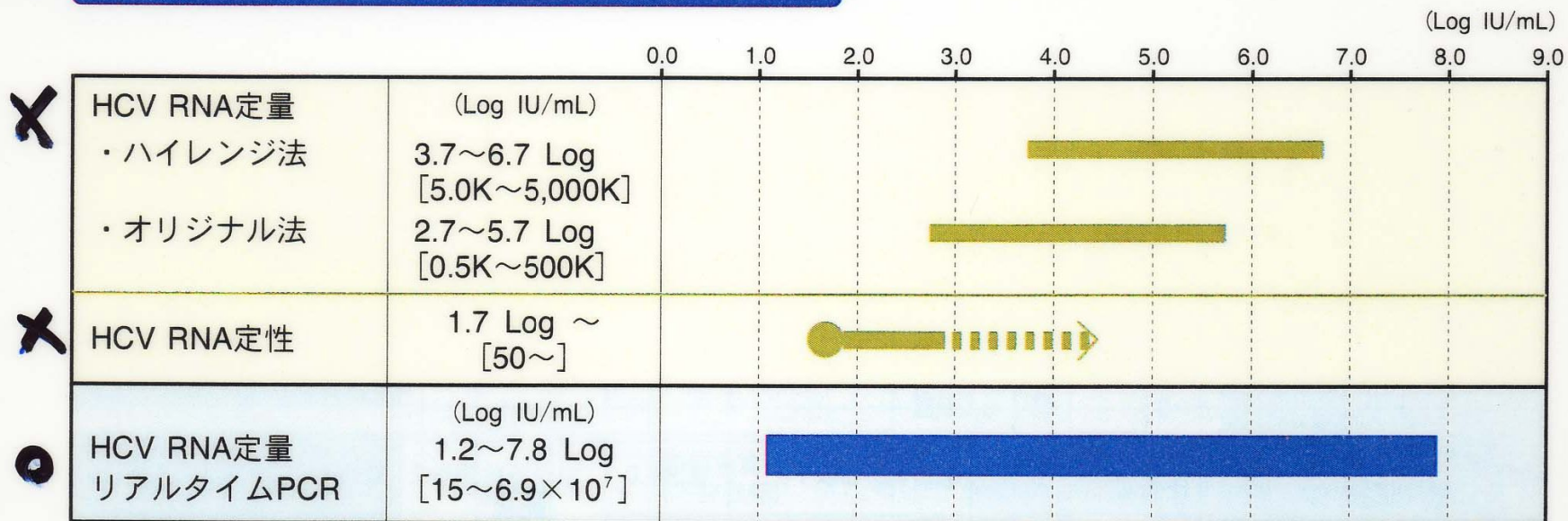


▼検査の流れ

C型肝炎ウイルス検査の指針



HCV 検査方法における測定範囲の比較



C型・B型肝炎ウイルス検査（肝がん検診）

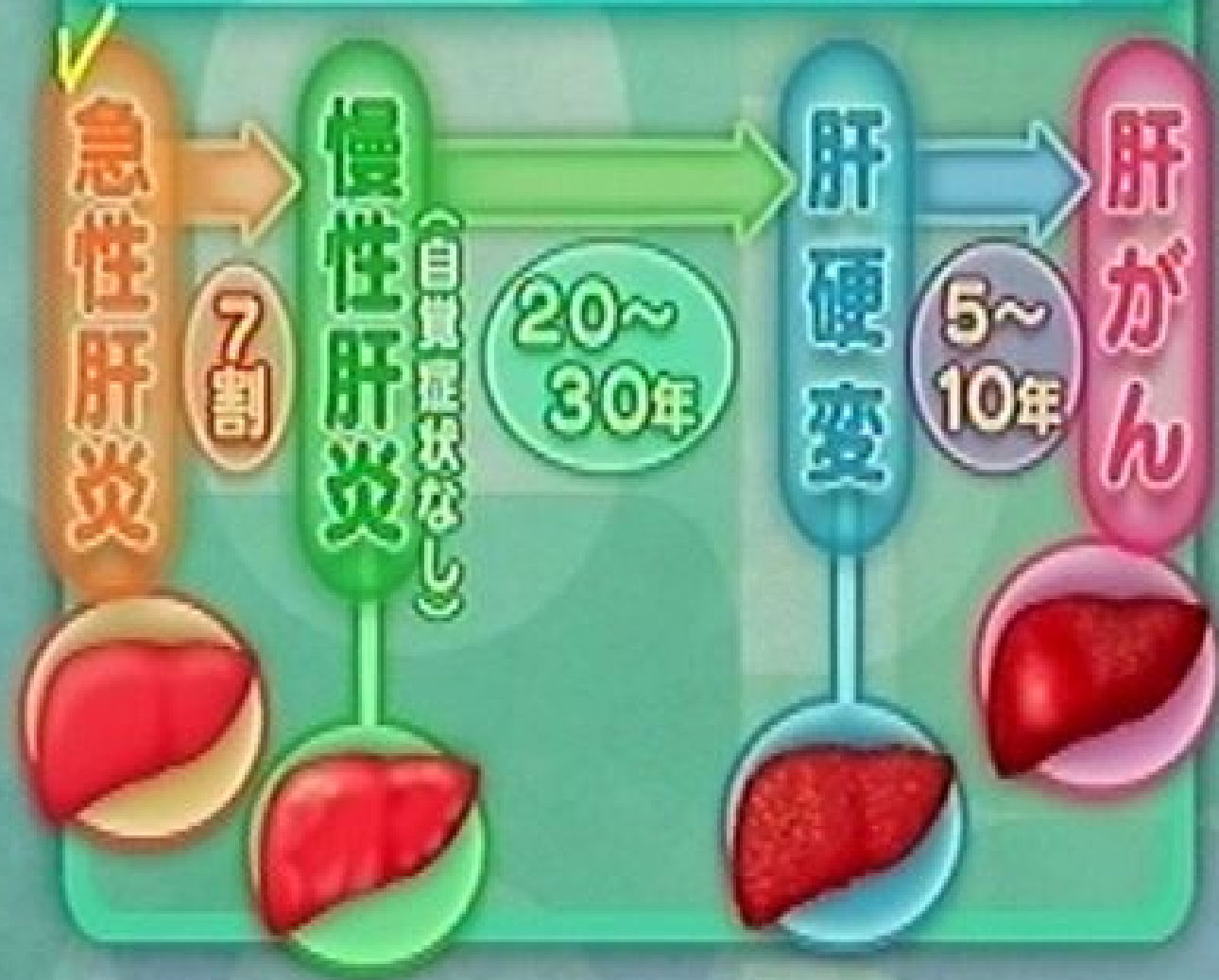
▼依頼方法

- ◇ 依頼書…通信欄に「肝がん検診」とご記入ください
- ◇ 容器…X (HCV抗体価用=茶色の生化学用) ・ P2 (HCVRNA用) の2本

▼報告形態

それぞれの検査結果の他、肝がん検診での請求に必要な判定区分①～⑤を表示いたします

C型肝炎ウイルスによる病気の進行



肝炎ウイルス感染者の定期検査

一般肝機能検査

●AST ●ALT

●総ビリルビン ●血小板 ●アルブミン

腫瘍マーカー

画像診断検査

●超音波 ●CT ●MRI

C型肝炎ウイルス感染リスクが高い人

1992年以前に輸血

輸入非加熱血液製剤を投与

長期の血液透析

大きな手術

国内で新たな感染者は少ない

C型肝炎に行う定期検査

血液検査

画像診断検査

慢性肝炎

3~6か月に1回

肝硬変・肝がん

3か月に1回

内視鏡検査

肝硬変

年に1回

C型肝炎の新しい治療法

●より効果を高める治療

ペグインターフェロンと
リバビリンの

併用療法

発がん予防の

インターフェロン
少量長期療法

肝硬変治療

のβ-インターフェロン
投与